

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課
基本目標1 行政情報提供の充実	(1) 保健・福祉・医療	1 国民健康保険等の案内	○国民健康保険制度の周知【情報提供】 外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図った。 配布件数：226件 (英語171、ドイツ3、中国16、韓国9、ポルトガル11、ベトナム12、インドネシア1、タイ3)	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図った。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは内容が詳細であり、多言語に対応しているため活用した。	A	各国の医療制度の違いにより、日本の国民健康保険制度について十分な理解が得られない場合がある。	随時	本市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	配布パンフレットに（一財）自治体国際化協会の情報を活用	国民健康保険課
			○外国人が受診しやすい体制の整備を図る。 (詳細は検討中)	6/21、9/19、10/18に実施した集団健診会場に通訳対応職員を1名配置した。	通訳対応職員を配置したものの実際に通訳を必要とする外国人はおらず、健診自体を知らない外国人が多いことから、引き続き関係部署と連携しながらPR方法の検討を行っている。	A	外国人も安心して受診できるよう通訳対応職員を継続して配置するとともに、外国人への健診PRがどのような方法が良いのか、外国人の意見も聞く必要がある。	随時	本市在住の外国人	英・中・韓	対応	検討中	国民健康保険課
		2 介護保険等の案内	○介護保険のしくみ【情報提供】 介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	17人	23人	A	介護が必要になったときに適切に利用してもらうため、引き続き多言語による説明書を用意して周知を続ける。	随時	65歳到達者・転入者	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	なし	市民課外国人相談窓口、配布パンフレットに（一財）自治体国際化協会の情報を活用	介護保険課
		3 甲府市子育てガイドブック等の配布	○甲府市子育てガイドブック等の配布【情報提供】 妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなどの情報提供を行う。また、相談窓口等の主要部分について、外国語に訳した資料を作成し添付する。	中国語の翻訳が完了	翌年度の翻訳言語について検討を行う。検討に当たっては、国籍別・年齢別の人口統計なども参考にし、同時に各コミュニティの構成員間で情報共有の可能性も考慮して行う。	A	順次、各外国の言語に対応できるようにしていく必要がある。	通年	甲府市在住外国人	英(H30年度対応)中(H31年度対応予定)	なし	なし	子ども支援課
		4 母子健康手帳の交付・健康診断や予防接種の問診票の交付	○健康づくり ①情報活性化モデル地区（新田地区）が開催する健康相談会への協力及び支援 ②国民健康保険の集団検診時における通訳者を派遣する。	①モデル地区に関しては、平成30年5月に地区が住民の「見守り」を目的に4団体と協定を締結。その一環として、協定を結んだ診療所に協力してもらい、無料で「青空診療所」を定期実施している。5月19日並びに10月27日に青空診療所を取材し、地域におけるモデル活動をホームページに掲載した。 ②国民健康保険の集団検診に通訳者を派遣した。 派遣回数3回（6/21、9/19、10/18）	①モデル地区に関しては、平成30年5月に地区が住民の「見守り」を目的に4団体と協定を締結。その一環として、協定を結んだ診療所に協力してもらい、無料で「青空診療所」を定期実施している。5月19日並びに10月27日に青空診療所を取材し、地域におけるモデル活動をホームページに掲載した。 ②国民健康保険の集団検診に通訳者を派遣した。 派遣回数3回（6/21、9/19、10/18）	A	なし	通年	①新田地区（貫川団地桜ヶ丘自治会連合会） ②甲府市在住の外国人	①英・中・韓 ②英・中・韓 音声通訳アプリ（全10言語：英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン）	対応	—	市民課
			○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	日本語の不自由な外国人住民の方は、日本語ができる友人等と来庁するため、用意している外国語の予防票等を利用し対応ができた。	今年度は、中国とインドからの外国人住民の方が多かったが、年間で10人ほどであった。用意している外国語の予防票等で対応ができた。	A	令和2年10月からのロタウイルスの定期接種化に対応する。	通年	甲府市在住外国人	英	なし	なし	医療感染症課
			○予防接種予診票【情報提供】 外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。予防接種の未接種者の把握を行い、訪問や健診の際に保健師が翻訳された資料等を利用しながら、未接種者への説明、支援を継続していく。	日本語の不自由な外国人住民の方は、日本語ができる友人等と来庁するため、用意している外国語の予防票等を利用し対応ができた。	今年度は、中国とインドからの外国人住民の方が多かったが、年間で10人ほどであった。用意している外国語の予防票等で対応ができた。	A	令和2年10月からのロタウイルスの定期接種化に対応する。	通年	甲府市在住外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	なし	なし	医療感染症課
			○母子健康手帳【情報提供】 外国人住民に多言語による母子健康手帳を提供し、産前産後育児に役立てる。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	英18・中9・韓3・ポ2・ス0・タイ2・タ2・ベトナム4・インドネシア1 合計41冊	多言語による母子健康手帳を提供するとともに、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	A	特になし	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・ベ・イ	なし	なし	母子保健課
			○乳幼児健診問診票【情報提供】 外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳	統計はとっていないが必要に応じて提供した。	会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	A	特になし	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし	母子保健課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	
(2) 学校教育	1	個別教育相談の実施	○児童、生徒、保護者との教育相談 児童、生徒、保護者との母語を話す日本語指導員等を介しての学校生活や進学等に関する教育相談	○学校の要請に応じ、母語を話す日本語指導員を通訳として派遣。(12月末まで28回)	○日本語指導員を活用し、積極的に児童生徒、保護者との教育相談を実施した。特に中学3年生については、受験を控えていたため、学級担任と連携しながら積極的に教育相談を行った。	A	問い合わせがない家庭との意思疎通	随時	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	—	学校教育課	
		2	学校からの情報提供	○就学案内のチラシ(文部科学省)【情報提供】 外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供。その際、必要に応じて山梨子どもネットについても周知。	相談のため窓口に来庁した外国人児童生徒の保護者に対して、就学ガイドブックを提供した。	文部科学省の外国人児童生徒のための就学ガイドブックについては、概要版(文部科学省作成の各国語用)を窓口にて配布。山梨子どもネットについても、必要に応じて周知。	A	学事課窓口に来庁される時には、ある程度情報を持っていることが多く、学事課が最初の相談窓口になることは少ないため、初めからの周知の機会は限られる。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・他	なし	なし	学事課
				○小中学校入学案内の発送 小中学校に入学する児童生徒の保護者に入学案内を送付。	基準日現在で甲府市に住民票を置いている外国人児童生徒のすべての対象世帯に入学案内を発送。 2020年度新小1：R1.10.1現在 対象22名 2020年度新中1：R1.11.1現在 対象32名	基準日現在で甲府市に住民票を置いている外国人児童生徒のすべての対象世帯に入学案内を発送。 2020年度新小1：R1.10.1現在 対象22名 2020年度新中1：R1.11.1現在 対象32名	A	右記の対応言語では、案内の内容を理解できない世帯がある。	年1回	甲府市在住の外国人世帯	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	対応	なし	学事課
				○保健調査票等の配付 小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係諸用紙を配付	小中学校に在籍している児童生徒に対して、該当する言語で訳された保健調査票等を配布した。	小中学校に在籍している児童生徒に対して、該当する言語で訳された保健調査票等を配布した。	A	右記の対応言語では、保健関係諸用紙を理解できない保護者がいる。	年間	児童・生徒およびその保護者	英・中(簡)・韓・ポ・ス	対応	なし	学事課
(3) 防災・安全	1	防災情報の提供	○外国語指導助手の招聘等 姉妹都市であるデモイン市及び県内在住の外国語指導助手を市立小・中学校、甲府商業高校へ配置することにより、児童・生徒への生きた英語学習機会を提供する。	○現地採用外国語指導助手の委嘱 12名 平成31年4月1日(月)～令和2年3月31日(火) ○デモイン市からの外国語指導助手の招聘 3名 令和元年8月1日(木)～令和2年7月31日(金)	○外国語指導助手を活用し、児童生徒への生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた児童生徒を育成に努めた。	A	なし	通年	市立学校に在籍している児童・生徒	英	—	デモイン市教育委員会	学校教育課	
			○児童・生徒への日本語指導 日本語指導センター校配置教諭、母語を話す日本語指導員による日本語指導	○センター校配置教諭6名が、日本語指導が必要な児童生徒90名を週134時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員6名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に32名を週45時間指導。	○センター校教諭、日本語指導員による日本語指導を通し、日本語の習得はもろんのこと、日本文化の理解や進学対策など指導を行った。	A	人事異動に伴う教諭の配置(県教委主導)	通年	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	—	学校教育課	
(3) 防災・安全	1	防災情報の提供	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 「わが家の防災マニュアル外国語版」を市民課へ設置。(転入者等へ配付)	・配付数 約100部	・配付数 約150部	A		通年	甲府市への外国人転入者及び甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・タガログ	対応	なし	防災企画課	
			○「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールをはじめ、災害への備えや避難行動などを、防災情報を提供する機会を創出し、いざという時の避難行動へ繋がるよう取り組む。【情報提供】	・広報誌やHP等により、甲府市防災アプリなど、本市の防災情報伝達ツールの周知。	・広報誌やHP内、また防災指導課にて外国人を対象とした防災教室を実施する中で、アプリなどの防災情報伝達ツールを周知している。	A	アプリ等の防災情報等を取得できるツールを広く周知させることは勿論のこと、いざというときに、適切な避難行動を取っていただけよう、粘り強く取り組んでいく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人ほか	ツールについては、英・中・韓	—	なし	防災企画課	
			甲府市洪水ハザードマップ中国語・韓国語版を作成する。	各公民館窓口や日本語学校など身近に入手できるよう、また外国人登録時や入学時などに配布してもらえるよう関係部署等と連携強化に努めている。	昨年度設置(配布)した英語版同様、中国語・韓国語版を作成、印刷を完了する。	A	なし	(平成31年度にマップ作成を完了し)H32年度より設置(配布)を行う	甲府市在住の外国人	英・中・韓	なし	なし	道路河川課	
		2	生活安全情報の提供	外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	年末合同防犯・防火パトロールを実施した。	同左	A	特になし	随時	甲府市在住外国人	なし	なし	警察・山梨学院大学・ユニタス・自主防犯ボランティア団体	危機管理課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	
(4)	地域活動・市民生活	1	自治会への理解・加入案内	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、自治会活動への理解や加入促進に努める。	やさしい日本語版や外国語版のチラシを市民課へ設置するとともに転入者には市民課においてチラシの配付を行っている。	A	自治会活動への理解を深めてもらい、外国人の加入へ繋がるよう、継続した周知活動を行っていく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課	協働推進課	
		2	ゴミの出し方の案内	○ごみの出し方【情報提供】 外国人住民に、全面改訂した多言語による「ごみの分け方・出し方」の冊子を提供し、ごみの正しい出し方の周知を図る。	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語で作成した「ごみの分け方・出し方」の冊子でごみの正しい出し方の周知を図った。新たに作成したベトナム語版の「ごみの分け方・出し方」の冊子で、ベトナム語圏の方々へのごみの正しい出し方の周知を図る。	B	外国語版冊子を必要とする方の把握が困難であるため、転入手続き時、市制情報コーナー、自治会等を通して配布している。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	なし	減量課	減量課	
(5)	情報提供・相談	1	生活関連情報の提供	○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 甲府市に住む外国人向けに、さまざまな手続きや知識を掲載し、情報提供に努める。	・甲府市外国人生活ガイドブック（6言語）及び「甲府市外国人生活ガイドブック」のQRコード付き多言語版のチラシを外国人相談窓口へ設置している。また、甲府市ホームページへ甲府市外国人生活ガイドブック（6言語）を掲載している。 ・「ごみの出し方」のQRコード付き多言語版のチラシを各窓口センターにチラシを設置し、在住している外国人に対して情報提供している。 ・外国人の転入手続きの際に「甲府市外国人生活ガイドブック」（QRコード付き多言語版のチラシ）と「ごみの出し方」（QRコード付き多言語版のチラシ）、自治会加入へのお誘いチラシ（日・英・ポ・韓・ス・中）を配布している。	A	増加するベトナム人に対応するため、「外国人生活ガイドブック」のベトナム語版を作成していく。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス・日	対応	—	市民課	
		2	やさしい日本語や多言語を用いた行政情報の提供	○多言語対応 48事業 ○やさしい日本語 26事業 ※項目の対応言語・やさしい日本語による	—	—	—	—	通年	甲府市在住の外国人	—	—	—	各課
		3	ホームページによる行政情報の提供	○やさしい日本語での対応で的確に翻訳されるよう努める。 ○ホームページの多言語への対応（自動翻訳や音声読上げ） 市内在住外国人の動向を見る中で、対応できる言語を考えていく。	市内在住者の国籍を見る中で、人数の増加しているベトナム語を翻訳対応言語として追加することを決定した。	B	・ベトナム語の追加により、翻訳対応言語を10言語→11言語になる予定。音声読上げ対応は、ソフトが対応可能な8言語提供予定。	特になし	通年	外国人	翻訳：英・中（簡体字、繁体字）韓国・ポルトガル・スペイン・フランス・イタリア・ヒンディ・インドネシアの10言語。 音声読上げ対応；翻訳対応言語のうち、中（繁体字）・インドネシアを除く8言語。	対応	なし	シティプロモーション課
		4	相談窓口の設置	○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象に、英語・韓国語・中国語を話せる3名の嘱託職員を配置するとともに、翻訳システムを活用し、日常生活における相談に対応していく。 ②就学相談は、学校教育課と連携し不就業児童・生徒が生じないように努める。	①相談状況に応じながらアンケート調査を実施する。（0件） ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図る。	A	①相談状況に応じながらアンケート調査を実施する。（0件） ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図る。	①翻訳アプリを使用する場合は、相談対応後にアンケートまで取りにくい。	通年	①甲府市在住の外国人 ②甲府市在住年齢の外国人及び保護者	①②英・中・韓音声通訳アプリ（全10言語：英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン）	対応	①なし ②学校教育課	市民課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課
		5 税・料の納付相談等	○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料を滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	翻訳システム等を活用し、市民課との連携を図りながら、納付相談を行った。 相談件数：357件	翻訳システム等を活用し、市民課との連携を図るなかで、やさしい日本語で随時納付相談を行った。	A	随時相談であるため、目標設定が困難。	随時	国民健康保険料を滞納している外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	市民課外国人相談窓口	国民健康保険課
			○外国人のための保険料納付相談 介護保険制度が理解できない為、介護保険料を滞納するケースが生じている。このため、制度の理解を図り、個々の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	納付相談件数（電話・来庁） 20件	25件	A	今後も引き続き個々の生活状況に応じた対応を行っていく。	随時	介護保険料を滞納している外国人	英・中・韓	なし	市民課外国人相談窓口	介護保険課
			○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できていないため、保険料が滞納となるケースがある。	0件	外国人の保険料納付相談については、個々の世帯の生活状況に応じ、随時、担当課と連携を図り対応していく。	A	特になし	通年	後期高齢者医療制度被保険者	英・中・韓	なし	市民課外国人相談窓口	高齢者福祉課
			滞納者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語の使用を行う。	納税相談（随時）	納税相談（随時）	A	相談者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語を使用していく	随時	滞納者	英・中・韓・ポ・ス	対応	検討中	滞納整理課
			○外国人滞納者への納付指導 やさしい日本語での対応を取りながら、各世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談・納付指導を行った。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談・納付指導を行った。	A	制度を理解してもらうのが難しく多言語への対応が必要と思われるが、外国語を使える職員が在籍する課と連携し、外国人入居者に対応している。	随時	住宅使用料を滞納している外国人	英・中・韓	対応	市民課外国人相談窓口	住宅課
			○水道料金等の使用開始申込の促進 給水区域内に住む外国人向けに、使用開始手続きを促進するチラシを配布する。	使用開始手続きをせずに、無届けで水道を使用している使用者に対して、外国人向けのチラシを併せて配布し、使用開始手続きの促進に努めている。	無届けで水道を使用している外国人に対し、水道契約の必要性を正しく案内することができた。	A	新たな言語導入の検討を行っているが、インターネット翻訳では誤った解釈となる可能性があるため、専門家へ依頼することが望ましいが、依頼が難しい。	通年	給水区域内に住居する外国人	英・ポ・中・韓	なし	なし	営業課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課
基本目標2 協働の促進	(6) 多文化共生に向けての社会参加促進	1 市政に対する意見等の促進	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、市政への意見制度について周知に努める。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版や外国語版のチラシの設置を市民課にて継続して行っている。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版のチラシを外国語版と併せて市民課へ設置していく。	A	制度への理解を深め、利用していただけよう継続した周知活動を行っていく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓	対応	市民課	協働推進課
		2 防災・防犯活動への参加促進・意識啓発	1 大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施予定 2 甲府市総合防災訓練への参加を促す。	1 大学の学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を4回開催し、93名の外国人留学生等に研修を行った。 2 総合防災訓練への参加を促し、10名の外国人が参加した。	2月23日(日)に貢川団地に居住する外国人市民を対象に防災教室を開催する。	A	多くの市内に居住する外国人に積極的に防災教室に参加していただく中で、更なる外国人市民等の防火意識や知識の向上を図る必要がある。	1年	大学等の生徒、甲府市に居住する住民	多言語	対応	1 大学、国際交流センター 2 自治会	防災指導課
		3 多文化共生関連の講座・研修	○日本で生活する外国人のための「日本語・日本文化講座」を山梨県立大学に委託し実施する。	3クラス別に日曜日に開催している。 (時間：13時～15時・受講料無料) 開催：17回 延べ205人 (5/12, 5/19, 5/26, 6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14, 7/28, 10/6, 10/20, 10/27, 11/17, 12/1, 12/8, 12/15)	3クラス別に日曜日に開催している。 (時間：13時～15時・受講料無料) 開催：20回 (5/12, 5/19, 5/26, 6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14, 7/28, 10/6, 10/20, 10/27, 11/17, 12/1, 12/8, 12/15, 1/26, 2/2, 2/9)	A	日本語学習の必要性を外国人に認知してもらうことで、初心者への参加拡大に繋がるPRをしていく。	通年	甲府市在住・在勤・在学の外国人	—	対応	—	市民課
			○「やさしい日本語サロン」(日本語・中国語講座) モデル地区住民が講師となる日常会話の講座を支援する。 (平成30年度から主催は地区、市は支援)	4回(6/16, 8/18, 10/27, 12/15)開催 計80名参加 日本語と中国語(最多国籍)をメインに、昨年度から「やさしい日本語サロン」と講座名を変更し、日本語や中国語を中心とした表現の学習と地域住民と交流を図った。	5回(6/16, 8/18, 10/27, 12/15, 2/16)開催 日本語と中国語(最多国籍)をメインに、昨年度から「やさしい日本語サロン」と講座名を変更し、日本語や中国語を中心とした表現の学習と地域住民と交流を図った。	A	参加しやすい日時や内容工夫していく。	通年	新田地区の住民(モデル地区)	英・中・韓	対応	新田地区	市民課
	4 留学生等に向けた合同企業説明会の開催	○「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」外国人相談員が進行役となり、日常会話・日本文化を体験する。 ①定期実施 ②今年度、本市に拠点をおく企業からの要請があり調整がつく場合は、企業へ出向いて実施する。(試行・新規)	①7日(4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19) 計13回開催 参加者数延べ234名 昨年度より、参加しやすくするため、昼の部・夜の部の複数開催するとともに土曜日の開催(1回)を行った。 ②1回(11/21)参加者数17名	①8日(4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19, 1/31) 計15回開催 参加者数延べ234名 昨年度より、参加しやすくするため、昼の部・夜の部の複数開催するとともに土曜日の開催(1回)を行った。 ②1回(11/21)参加者数17名	A	多文化共生リーダーの育成とともに多文化共生リーダーの意見を取り入れた講座を開催する。	①通年 ②随時(年1回以上)	甲府市在住・在勤・在学の外国人(日本人も可)	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	市民課	
		○外国人(主に留学生)と市内企業の雇用にかかるマッチング機会を創出し、市内企業への就職を促進する。	「留学生・外国人向け合同企業説明会」を実施 日時：9月11日(水)14:30～16:30 場所 山梨学院大学 参加企業 12社 参加者 27名	「留学生・外国人向け合同企業説明会」を実施 日時：9月11日(水)14:30～16:30 場所 山梨学院大学 参加企業 12社 参加者 27名	A	留学生を対象としたアンケート調査の結果を精査する中で、効果的な事業実施を図っていく。	随時	留学生や外国人全てに対応	—	対応	山梨学院大学	雇用創生課	
	(7) 多文化共生のための人材育成と人材活用	1 人材育成研修・講座の支援	○市役所職員のための「やさしい日本語講座」 外国人・日本人ともに分かりやすい日本語で接遇することを目標に職員を対象に実施する(隔年)	隔年の開催年に当たるため、自治体国際化協会地域国際化アドバイザー派遣事業を活用し、市役所職員を対象に市役所職員のための「やさしい日本語講座」を6月24日に本庁舎にて開催した。 参加者数：43名	隔年の開催年に当たるため、自治体国際化協会地域国際化アドバイザー派遣事業を活用し、市役所職員を対象に市役所職員のための「やさしい日本語講座」を6月24日に本庁舎にて開催した。 参加者数：43名	A	講師派遣が可能になった場合は毎年開催していく。	隔年	甲府市職員	なし	対応	一般財団法人自治体国際化協会	市民課
		2 多文化共生のための人材活用	○多文化共生リーダーの育成 「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」における各種体験等を通して多文化共生リーダーを育成していく。 ①定期実施 ②出張(試行・新規)	①7日(4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19) 計13回開催 参加者数延べ234名 第4回目の講座から多文化共生リーダー募集の声掛けをした。 ②1回(11/21)参加者数17名	①8日(4/25, 5/16, 6/20, 7/6, 10/31, 11/14, 12/19, 1/31) 計15回開催 参加者数延べ234名 第8回目の講座終了後に、多文化共生リーダーに賛同された方並びに国際交流課に配属された国際交流職員(フランス出身)と来年度の事業内容等について意見交換を行う。 ②1回(11/21)参加者数17名	A	多文化共生リーダーを育成し、定着を図ること。	①通年 ②随時(年1回以上)	甲府市在住・在勤・在学の外国人(日本人も可)	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	市民課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	
(8)	日本語の 学習・文化の学び	1	「日本語・日本文化講座」等開催情報の提供	○情報の提供 甲府市の各関係機関の窓口へやさしい日本語や多言語化したパンフレットを設置するとともに、様々な機会を捉えてPRする。	9月23日(月) 甲府駅北口よっちゃばれ広場において初開催された「やまなしグローバルフェスタ2019」において、チラシを配布し情報の発信を行った。 配布数：160部 (チラシ：①外国人生活ガイドブック多言語版QRコード ②ごみ分別方法 多言語版QRコード ③わが家の防災 多言語版QRコード ④自治会加入について 多言語版QRコード ⑤やさしい日本語会話・異文化体験サロン 多言語版QRコード ⑥日本で生活する外国人のための日本語・日本文化講座) ・10月27日「第31回甲府大好きまつり」において出展名「多言語情報コーナー～フェイスベントでお祭り気分～」として初出展し、チラシを各500配布した。 ①甲府市多文化共生プラン ②外国人生活ガイドブック 多言語版QRコード ③ごみ分別方法 多言語版QRコード ④わが家の防災マニュアル 多言語版QRコード ⑤自治会加入について 多言語版QRコード ⑥やさしい日本語会話・異文化体験サロン ⑦日本語・日本文化講座 ⑧マイナンバーまるわかりガイド ⑨マイナンバーを作ってみませんか	A	なし	随時	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	—	市民課	
		2	図書館・公民館での日本語学習関連教材の充実	【情報提供】 日本語学習に関連した所蔵資料の利用・貸出等	関連書籍の購入を行った。	選書基準に照らし85冊の関連書籍を購入。	A	関連書籍の貸出も含めた利活用。	随時	図書館利用者	英・中 他	なし	なし	図書館
基本目標3 国際化への対応	(9) 国際交流の推進	1	姉妹・友好都市等との交流事業の推進	○姉妹・友好都市等との交流事業 国際親善の一環として、1958年(昭和33年)8月にアメリカ合衆国アイオワ州デモイン市、1961年(昭和36年)4月に同国カリフォルニア州ロダイ市、また、1975年(昭和50年)8月にフランス共和国アキテーヌ州ビレネー・アトランティック県ポー市、そして、1984年(昭和59年)9月に中華人民共和国四川省成都市と姉妹・友好都市の締結を行うとともに、2002年(平成14年)の9月には大韓民国忠清北道清州市と気兼ねなく交流が図れる友情都市を締結し、国際理解を深めている。	①平成31年4月4日～7日まで各姉妹都市等の代表者を招待し、「こうふ開府500年記念姉妹都市等交流事業」を実施した。 ②在日韓国民団主催の「山梨コリア祭り」(10月6日)において、友情都市である清州市との都市提携情報等をパネル等により市民にPRした。 ③姉妹都市等の紹介を市民にPRする場として、国際交流インフォメーションを市役所内に開設するとともに、甲府市・成都市都市提携35周年記念として成都市から寄贈されたモニュメントを設置した。	A	姉妹都市等からの依頼等に随時対応していくとともに、国際交流インフォメーションの充実を図る。	随時	姉妹・友好都市等	英・仏・中・韓	—	事業内容に応じた関係部署等	秘書課	
		2	海外姉妹校児童・生徒との交流の推進	○姉妹・友好都市との交流 国際性豊かな視野の広い青少年の育成及び姉妹都市・友好都市との交流を図ることを目的として、姉妹都市デモイン市及び友好都市成都市との相互教育交流の一環として、海外研修派遣事業及び受入事業を実施している。 平成31年度は、デモイン市へ海外研修派遣団を派遣し、デモイン市から教育交流派遣団の受入を行う予定である。	○デモイン市からの教育交流派遣団の受入 令和元年6月1日(土)～9日(日) 生徒22名 引率4名 ○デモイン市への海外研修派遣団の派遣 令和元年8月1日(木)～10日(土) 生徒24名 引率3名	○各校の学園祭等において派遣団が報告を行った。引き続き、国際性豊かな視野の広い青少年の育成、及び姉妹・友好都市との交流に努める。	A	なし	随時	市立中学生・甲府商業高校生	英	—	デモイン市教育委員会	学校教育課
		3	食の異文化交流会	○食の異文化交流会 外国人留学生と市民との、食を通じた異文化交流会を開催する。	山梨県女性のつばさ連絡協議会「こうふ支部」と協議を重ねる中で、8月に国際交流員として任用された国際交流課ファニー・オランジュさんにフランス料理の講師をしてもらい、今年度第1回目の「食の異文化交流会」を開催し、多くの外国人留学生と交流を深めた。 【開催日・料理名】 ■令和元年11月30日(土)開催：ノルマンディー風リンゴのタルト、ブルターニュ地方のそば粉のガレット、ニース風サラダ	第2回目の「食の異文化交流会」を開催する 【開催日・料理名】 ■令和2年2月24日(月)開催：ほうとう 他	A	特になし	年2回	甲府市在住又は甲府市の学校に通っている留学生	—	対応	山梨県女性のつばさ連絡協議会こうふ支部会	秘書課 (国際親交委員会)
		4	学生レポーター(留学生)による情報の提供	○留学生レポーターによるブログの発信 市内大学等に在籍する留学生を留学生レポーターに委嘱し、日本語と母国語でブログ記事を作成し、情報発信していただく。 ○やさしい日本語対応に努める。	12月末までに留学生レポーター14名を委嘱した。また、留学生レポーターによるブログも、4本作成していただいた。	・今後、留学生レポーター向けに「魅力発見ツアー」を開催し、留学生の視点でのブログによる情報発信を行う予定。	A	特になし	通年	大学等に在籍する留学生	留学生の対応できる言語	対応	なし	シティプロモーション課
		5	2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿推進事業	○令和元年11月6日(水)～11月10日(日)に東京体育館で開催される「ITTFチームワールドカップ東京」にあわせ、フランス卓球連盟による市民との交流事業や合宿地の視察等を行う。 ○2020東京オリンピック大会に伴う、フランス卓球・レスリングチームの事前合宿地の受け入れを行う。	○令和元年11月6日～8日の間フランス卓球連盟役員が来甲し、11月7日に石田小学校の全校集会において歓迎会を開催し、フランスの家庭料理メニューの給食を子供たちと一緒に食べた。 ○事前合宿については、フランスチームが来日しなかったため不実施	○年度内のフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の予定無し	B	2020東京オリンピック大会での事前合宿時については、市民との交流を予定	随時	フランス卓球・レスリングチームの関係者	フランス語	—	なし	国際交流課
		6	国際交流員の活用	フランス人の国際交流員による、放課後児童クラブ等での遊びによる異文化体験の実施。	11月14日に上阿原町新田公会堂において「ファニーオランジュのフランス文化講座」出前講座を実施し約30人が参加した。	令和2年2月3日甲府ロータリークラブ会員・2月7日甲府市立西中学校において、フランス文化について出前講座を実施予定	B	放課後児童クラブや市内保育所等についても異文化体験を計画していく。	8月以降随時	未就学児～小学生	フランス語 英語	—	なし	国際交流課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1.12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2.3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課
		7 留学生と高校生との交流会	市内4大学の留学生と市内高校生によるイベント等を通じた交流を行う。	令和元年11月23日 市内大学の留学生14名と商業高校生14名が外国人留学生と甲府商業生がペアとなり、交流を図りながら甲府の歴史を学ぶとともに、英語を交えた説明案内や外国人留学生との会話、コミュニケーションを通じ、お互いの国際感覚を養う。	同左	A	特になし	随時	市内外国人留学生 ・市内高校生	多言語	—	なし	国際交流課
		1 公共施設・生活関連施設の多言語化促進	バス事業者に対し、引き続き行き先案内表示の取組状況を確認していく。	市内を運行するバス事業者(2社)において対応が済んでいる。	同左	A	—	随時	①観光客 ②甲府市在住の外国人	—	—	富士急山梨バス㈱	交通政策課
	○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の配布 中心市街地のジュエリー関連店舗等を紹介するマップを配布。観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。		各イベント等において約900部配布を行った。	各イベント等において約900部配布を行った。 新たな多言語版のマップについて、サイズなどを検討し予算要求を行った。	A	掲載言語の選定	通年	外国人観光客および県外からの観光客	中国語、英語	検討	特になし	—	商工課
	○公共サイン計画の推進 甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図る。		公共サインの整備方針(案)の作成のため、各部署の管理台帳の精査及びサインのランク分けを行ってきたが、数が膨大であるとともに種類が多岐に亘るため作業が難航している。また、公共サインの整備は財政面でも大きな負担となるため、公共サインを優先的に整備すべき重点エリア等を選定し、整備方針(案)を作成することとした。	公共サインの整備重点エリア(仮)を選定し、エリア内の公共サインの管理台帳の精査とサインのランク分けを行う。	B	公共サインの数は膨大であり、全てを速やかに更新することは財政面で大きな負担となるため、効果的で効果的な整備を進める必要がある。	—	市内在住者及び来訪者	英語外	—	なし	—	都市計画課
(10)	まちなか情報の多言語化	2 多言語での外国人向け観光情報の発信	外国人観光客の移動を円滑にできるよう、多言語(英語・中国語・韓国語)に対応した甲府市観光バスマップの作成・配布する。 ①甲府市観光案内所における多言語対応 甲府市観光案内所において、英・中(繁)・中(簡)に対応できる職員による案内対応及び、無料Wi-Fiやタブレット端末(3社間通話や翻訳アプリ搭載)を活用し、外国人観光客の利便性の向上に努める。 ②インバウンド向けインターネット広告 現事業者の本事業の終了に伴い、新たな事業者または新たな情報発信手段を検討する。 ③JNTO(日本政府観光局) 平成29年度より加盟しているJNTOに対して、多言語による本市の観光情報を提供し、JNTOのSNS等で配信する。	観光案内所等に備え付けている。 ①観光案内所における外国人案内人数は、1,372人である。 ③掲載依頼件数は2件である。	同左	A	—	随時	①観光客 ②甲府市在住の外国人	英語 中国語 韓国語	—	—	交通政策課
		3 無料公衆無線LAN環境の整備促進	○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備推進事業 市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の整備を推進する。	Wi-Fi設置箇所は、277箇所である。	Wi-Fiの周知及び整備を推進し、外国人観光客の利便性の向上を図る。	B	既に協力を得ることの出来る主な観光施設等は設置しており、今後急激な増加は見込みづらい状況である。	通年	外国人観光客	①ソリューション(主要観光施設4台)…日・英・中(簡)・中(繁)・韓、インドネシア ②①以外…日・英	—	NTT東日本 山梨支社	観光課
(11)	推進体制の整備	1 委員会の設置	甲府市多文化共生推進委員会の設置 「甲府市多文化共生推進計画2016」に掲げた事業の推進状況等について評価・検証を行い、着実な計画推進を図る。	2回 ・6/25 ・9/30～10/15(メール会議)	3回 ・6/25 ・9/30～10/15(メール会議) ・3/9	A	なし	1年:3回(内メール会議1回)	—	—	—	—	市民課
		2 庁内連絡会議の設置	甲府市多文化共生庁内連絡会議の設置 「甲府市多文化共生推進計画2016」に掲げた事業の推進状況等について調査・研究を行い、着実な計画推進を図る。	①庁内連絡会議:1回(5/28) ②ワーキンググループ:1回(6/4)	①庁内連絡会議:1回(5/28) ②ワーキンググループ:2回(6/4、2/28)	A	なし	1年:3回	—	—	—	—	市民課

令和元年度 甲府市多文化共生推進事業計画実績（見込）

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	R1. 12月末現在の実績	R元年度事業実績 (R2. 3月末見込)	達成率 (見込)	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課
基本目標4 組織体制の整備 (12) 拠点の整備		1	情報拠点の整備	○情報発信拠点 各担当課や関係諸機関等と連携し、実施している多文化共生施策や活動の情報収集を行い、やさしい日本語や多言語化で外国人市民への情報発信拠点とする。	市ホームページのほかに市ホームページ内フェイスブックにて情報を発信した。 発信回数：97回 内訳（HP：①外国人向け情報20回、②やさしい日本語・異文化サロン8回、③モデル地区関連9回、④その他24回、⑤イベントカレンダー12回、フェイスブック9回、ツイッター：9回）	A	なし	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	-	市民課
		2	地域拠点の整備	○情報活性化モデル地区の設置 外国人が集住している新田地区であるモデル地区に対して、地区の自主運営を支援していく。	①やさしい日本語サロン（日本語・中国語講座） 開催回数：4回 （6/16「絵手紙」、8/18「かけ飾り～風鈴～」、10/27消しゴムインを作ろう、12/15みんなで学ぼう！防災） ②3記事（5/19青空診療所・青空市、7/27桜ヶ丘自治会夏祭り、12/15青空市）	A	なし	通年	新田地区の住民（モデル地区）	英・中・韓	対応	-	市民課
		3	市民、ボランティア団体、関係機関等との連携	○防災に関する活動 山梨英和大学および山梨学院大学の留学生を対象とした防災教室を行う。	「留学生のための防災教室」開催 内容：地震体験、防災講話、非常食試食等 ・7月17日 山梨英和大学（大学と共催） 参加者数：30名 ・10月2日 山梨学院大学iCLA （大学・山梨県国際交流協会と共催） 参加者数：33名 参加者数合計63名	「留学生のための防災教室」開催 内容：地震体験、防災講話、非常食試食等 ・7月17日 山梨英和大学（大学と共催） 参加者数：30名 ・10月2日 山梨学院大学iCLA （大学・山梨県国際交流協会と共催） 参加者数：33名 参加者数合計63名	A	なし	通年	留学生及びその他学生	英・中・韓・ポ・タガログ・日	対応	山梨県国際交流協会

留意事項
多文化共生
対応言語の種類
やさしい日本語

国籍や民族などの異なる人々が、文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
英語＝英、中国語＝中（簡）・中（繁）、韓国語＝韓、ポルトガル語＝ポ、スペイン語＝ス、タイ語＝タイ、タガログ語＝タ、その他＝他
対応済＝「対応」、未対応＝「なし」、該当なし＝「－」